



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第13号

平成17年1月15日

あした元氣になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



厳冬の飯綱東高原

年頭にあたって

病院長 長田 敦夫



新年明けましてお
めでとうございま
す。

国の内外では戦争
や災害、経済不況
など社会不安が続

いていますが、今年こそ「災い」を転
じて福となすといった年になることを
念願したいと思います。

高度な専門医療といつでも対応でき
る救急医療の充実を目指した百床の増
床を含む病院の増改築事業について
は、現在設計もほぼ終わり、近いうち
に工事が始まります。完成は十八年度
の後半になる予定ですが、皆様には工
事中できる限りご迷惑がからないよ
うに鋭意配慮に努めます。

長野市民病院は平成七年六月に開院
し、早いもので今年は開院十周年とな
ります。この十年間、市民に開かれ、
市民とともに歩む病院として、病院の
理念に沿って質の高い医療を安全に市
民の皆様提供することを心がけてま
いりました。この間、投書箱「皆さま
の声」、その他を通じて患者・市民の
方々から多くの意見・提言をいただき
改善に努力してまいりましたが、まだ
まだ不十分であると感じています。
「初心忘るべからず」という言葉があ
りますが、私も職員の一一人が開
院十周年という節目の年頭にあたっ
て、初心に帰り心新たに「患者さまが
主人公の医療」の実現にさらに努力す
ることを誓いたいと思います。



三叉神経痛とは、顔の片側半分の激しい痛みで、我慢できない痛みのひとつである。痛みは突然片側の顔面(多くは頬や下あご、口の中、鼻)

三叉神経痛の治療

薬物療法・ブロック注射

・開頭手術により

副院長 竹前 紀樹(脳神経外科)

に数秒〜数分間続く。顔の運動障害や知覚障害は通常みられない。痛みは発作性、鋭い、刺すような、焼けるような、電気が走るようなという表現がなされることが多い。患者さまは刺激によってこの痛み発作を起こす場所を特定でき、頬、唇、歯肉、前頭の小さな領域である。これらを三叉神経痛の誘発帯というが、その誘発帯に対する接触、寒さ、圧迫、風などごく単純な刺激に対し敏感である。食べ物をかむ、話をする、微笑み、髭剃り、歯磨き、風の吹く日の外出などは、三叉神経痛を誘発し

やすい活動である。疼痛誘発を恐れて食事をせずやせ衰える人もいる。多くの三叉神経痛の患者さんは、数週間〜数ヶ月の痛み発作後、自然に痛みがなくなることもあるが、数日から数ヶ月、数年で再発を繰り返す。

三叉神経痛の原因の多くは、三叉神経を脳の血管が圧迫しているためである。

治療としては、一般的には薬物療法(テグレトールなど)を行う。初期の薬剤効果は90%の例に認められ、75%において長期効果は認められない。痛みが強い場合は、麻酔薬などを注射

するいわゆるブロック療法があるが効果は一時的である。外科的手術としては、開頭術により三叉神経を圧迫している血管を剥離する神経血管減圧術という方法がある。当院でもこの手術を行っており、痛みからの解放される率は80〜90%である。その他最近ではガンマナイフという放射線治療も行われている。

*ガンマナイフとは、放射線治療の一つで、集中的に障害となっている部位に放射線を照射するもの。

ボランティア コンサート

2題

きゅうりゅう

旧臘十五日と二十四日にボランティアの皆さまによるミニコンサートをエントランスホールで開催していただきました。概要は次ぎのとおりで入院患者さまや見舞いの人たちに好評でした。

*十二月十五日

東北中学器楽合奏部による一足早いクリスマスコンサート、『ジングルベル』、『サンタが町にやってくる』等を演奏していただきました。同合奏部は、県内では唯一



▶東北中学器楽合奏部の皆さん

*十二月二十四日

つのリコーダーにより演奏する部です。尺八のような縦笛がクリスマスソングの数々を変わった音色で演奏してくださいました。

『大城説子と仲間たち』は、スイス在住で国内外で演奏活動が続ける大城説子さんと信州大学で声楽を勉強中の小林美穂さん、県内で演奏活動を行う湯本真由美さん、佐藤めぐみさんの四人による出演で、電子ピアノ、フルートにあわせて『春の歌』、『いつも何度でも』、『花』等のほか、クリスマスソングを声量たっぷりの歌声に会場を埋めた五十人あまりの患者さまや見舞いの人たちを感動させました。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

スペシャル オリンピックスを 知っていますか？

スペシャルオリンピックス（S O）とは、知的発達障害のある人たちの自立と社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムと競技会を提供する国際的なスポーツ組織です。きっかけは、1963年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が自宅の庭で開いたデイ・キャンプ。知的発達障害のためにスポーツをする機会に恵まれない人たちに、その場を提供したことが関心を集めました。彼女の姉ローズマリーも知的発達障害者でした。

68年にはジョセフ・P・ケネディJr財団の支援で組織化され、「スペシャルオリンピックス」と命名されて、全米から世界へと拡がりました。本部はアメリカにあり、現在160か国が加盟、100万人のアスリート（選手）、100万人を超えるボランティアが活動に参加しています。

スペシャルオリンピックスと名称が複数形で表されているのは、この名称が一つの大会だけでなく、多くのプログラムが継続的に行われることを意味しています。継続的なスポーツ活動がアスリートたちの健康や体力増進、技術向上だけでなく、多くの人々との交流が彼らの社会性を育み、ボランティアもアスリートから多くのことを学びます。

二〇〇五年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野が二月二十六日（土）から三月五日（土）まで長野市、牟礼村、山ノ内町、野沢温泉村、白馬村を会場に開催されます。冬季世界大会としては、八回目で世界約八十余国から二千五百名のアスリートが参加します。

当院では、大会期間中、開閉会式・スピードスケート競技会が行われるエムウエーブとスノーボード競技会が行われるいづなりゾートスキー場（牟礼村）に医療チームを派遣して救急事態に備えます。

エムウエーブ医務室には、延べで医師八名、看護師十二名、いづなり



▲写真提供 SO1.SON

病院の医療チームを派遣

ゾートスキー場医務室には、医師、看護師それぞれ延べで七名を配置します。

長野市民病院 NST （栄養サポートチーム）発足

栄養科科長補佐 美谷島 司

現在我が国では、飢餓、栄養失調等で苦しんでいる方は一般的にみられなくなっていますが、病院では病状により食事が食べられない等、栄養状態が低下している患者さまがしばしば見受けられます。低栄養の状態が続くと、感染症のリスクが上がる、病気の回復が遅くなる等の症状がみられます。そこで低栄養の患者

さまの栄養状態を改善し、治療を側面より補助する目的で昨年の十二月七日より栄養サポートチームが発足いたしました。

NSTのメンバーは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、管理栄養士等より構成されており、

NSTは、栄養状態の低下している患者さまを抽出し、適正な栄養方法と栄養量を主治医に提言することが主な業務です。そのためには患者さまの身長、体重、皮下脂肪厚等の身体計測、血液検査、回診による患者さまの状態把握が必要です。頻回に体重を量ったり、大勢でゾロゾロと回診したり、患者さまにはご迷惑をかけることもあるかと思われますが、栄養状態の低下によるリスクを減らすこと、より早い疾病治癒を目的として行っておりますので、ご容赦とご理解をお願いいたします。

NSTメンバー

外科科長・関仁誌、看護副部長・吉澤眞寿美、看護師長・小山和恵、看護主任・小林香、清水徳子、花岡ゆり枝、看護師・田中香織、山野井加奈子、中島陽子、飯島理恵、赤城信江、薬剤科・鈴木英二、臨床検査科・小林宏正、リハビリテーション科・渋谷純子、栄養科科長補佐・美谷島司、栄養科主査・増尾あや、栄養科・宮原ゆかり、エムサービス株式会社・岡広志

当院の満足度は85点

2004年度
患者さまアンケート 満足度調査 速報



当院では、常に患者さまの視点に立った医療を提供しようと各部門で努力しておりますが、去る12月13日から5日間にわたり入院患者さま、外来患者さまに対して市民病院にたいする満足度調査を実施いたしました。結果は次のとおりです。

回答してくださった方は、入院患者さまが108名、外来患者さまが225名でした。調査内容のうち、不満とお答えいただいた項目についてまとめました。これによりますと、診療や会計の待ち時間が長いという回答が多く寄せられました。職員の対応やマナーについての苦情は比較的少ないようにでした。施設面に対する苦情につきましては、できることから改善してまいります。当院を100点満点で評価すると85点という数字がでました。この調査結果を今後の病院の運営に生かしてまいります。

一月十七日(月)から
次医師の外来診療日が
一部変わります。

内科
・山本寛二 (月) ↓ (火) (木)
・岡本尚子 (木) ↓ (月) (火) (木)
脳神経外科
・石坂繁寿 (月) 初診担当 (追加)

当院のここが不満

		回答者108名	回答者225名	合計333名
		外来患者さまの改善要望(件)	入院患者さまの改善要望(件)	合計(件)
職員の対応・マナー	総合受付・会計事務員の言葉づかい・態度	2	0	2
	各科窓口事務員の言葉づかい・態度	4	1	5
	看護師の言葉づかい・態度	3	0	3
	医師の言葉づかい・態度	9	0	9
	薬剤師の言葉づかい・態度	0	1	1
	検査技師の言葉づかい・態度	3	0	3
	放射線技師の言葉づかい・態度	2	1	3
	リハビリ技士の言葉づかい・態度	1	1	2
	栄養士の言葉づかい・態度	1	0	1
	医療相談員の言葉づかい・態度	2	0	2
	ボランティアの言葉づかい・態度	2	0	2
	売店職員の言葉づかい・態度	9	2	11
	警備員の言葉づかい・態度	2	0	2
	職員全般の対応・マナーの満足度	4	1	5
医療サービス面	受付開始時間や診療待ち時間	81	36	117
	診療後の支払までの待ち時間	58	20	78
	診察時間(入院の場合、医師の巡回を含む)	15	6	21
	医師の説明のわかりやすさ	17	5	22
	看護師の説明のわかりやすさ	10	1	11
	薬剤師の説明のわかりやすさ	4	0	4
	安全・安心感	6	3	9
	給食(入院の場合)	6	15	21
	かかられた科(又は病室)でのサービス全般の満足度	10	0	10
施設面	清掃のゆきとどき	3	3	6
	案内表示のわかりやすさ	10	5	15
	トイレや洗面所設備	13	10	23
	分煙・禁煙化への取り組み	10	4	14
	携帯電話の使用可能場所	20	12	32
	駐車場(駐車料金を含む)	32	9	41
	喫茶・レストラン・理美容	10	2	12
	売店・自動販売機	6	5	11
	施設面全般の満足度	4	3	7

「患者さまの諸権利」が守られなかったと感じられた

		外来患者さま	入院患者さま	合計(件)
患者さまの権利	「よりよい医療サービスを受ける権利」	9	0	9
	「人間としての尊厳を保つ権利」	9	3	12
	「医療上の情報提供と十分な説明を受ける権利」	14	1	15
	「自分で選び、自分で決める権利」	9	2	11
	「プライバシーが保護される権利」	5	3	8

■当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいですか？

外来患者さま	入院患者さま	平均
84.8	88.1	85.1点